

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024年07月10日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県沼津市本字下一丁田898-1

氏名 一般財団法人 芙蓉協会

理事長 青木善治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 055 - 952 - 1000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一般財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津病院		
事業場の所在地	静岡県	沼津市	市 本字松下七反田902-6
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	医療業		
② 事業の規模	許可病床 246床		
③ 従業員数	640名		
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	院内各部署にて特別管理産業廃棄物が発生 → 廃棄物を分別し所定の各専用容器に入れて排出 → 病院A棟地下駐車場ドライエリア及びB棟西側ピロティの専用集積庫にて保管 → 収集運搬業者にて収集し処分場へ運搬 → 処分場にて焼却処理 → 処理後のスラッグ、焼却灰は最終処分場へ運搬する → 最終処分場にて埋め立て処理等とする。		

## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

<p>(管理体制図)</p> <p>一般財団法人芙蓉協会理事長</p> <p>↓</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院内看護部</li> <li>・病院内診療技術部</li> <li>・健診センター</li> <li>・在宅サービス部</li> <li>・収集運搬委託業者</li> <li>・処分委託業者</li> </ul> <p>特別管理産業廃棄物処理計画</p> <p>作成部署：施設管理課 総括責任者：施設管理課係長</p>
--

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和 5年度）実績】</b>	
	特別管理産業廃棄物の種類	排出量
	感染性廃棄物	79.372 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組) ・感染性廃棄物と非感染性廃棄物との分別の徹底	
②計画	<b>【目標】</b>	
	特別管理産業廃棄物の種類	排出量
	感染性廃棄物	78.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組) ・感染性廃棄物に非感染性廃棄物が混入しない様、再度分別の徹底を行い排出量の削減に努める ・排出容器見直しによる重量削減	

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・鋭利な感染性廃棄物とそれ以外の感染性廃棄物とで廃棄容器を分け分別を行っている。 ・新入職員に対し、研修会開催による啓蒙活動を行っている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・勉強会開催等による啓蒙活動の実施 ・各職場へ処理単価を共有し処理費用を意識した分別意識の向上を図る

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t

(今後実施する予定の取組)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】						
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った特別管理産業廃棄物の量				
		0.000	t			
		0.000	t			
	(これまでに実施した取組)					
【目標】						
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行う特別管理産業廃棄物の量				
		0.000	t			
		0.000	t			
	(今後実施する予定の取組)					
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
【前年度（令和 5 年度）実績】						
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	感染性廃棄物	79.372	0.000	0.000	0.000	79.372
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(これまでに実施した取組) ・処分業者選定にあたり優良認定処理業者を優先した選定とした						

②計画	<b>【目標】</b>					
	特別管理産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	感染性廃棄物	78.000	0.000	0.000	0.000	78.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(今後実施する予定の取組) ・処分業者選定にあたり優良認定処理業者を優先した選定とする						
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（令和5年度）実績】</b>					
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	79.372 t				
(今後実施する予定の取組等) ・継続して電子マニフェストによる管理に努める						
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。